

新たな食料・農業・農村基本計画 閣議決定 戸別所得補償と6次産業化が柱に

規模拡大路線から多様な経営形態の支援に変更し 自給率50パーセントを目指す

3月30日、新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定された。この計画は「食料・農業・農村基本法」に基づき、5年ごとに変更されるものである。そのなかで、我が国の農業・農村の現状を、農地の減少、農業者の高齢化、農村の疲弊などが進み、ここ十数年で危機的状況が生まれているとし、計画の基本理念を「国民全体で農業・農村を支える社会の創造」だと書いている。しかし、基本計画の柱である戸別所得補償制度や、6次産業化には4兆円を越す予算が必要であり、財政面での調整が必要となる。

農産物の加工・流通・販売で農業収入確保

6次産業化は、第1次産業である農業と農産物を加工する製造業(2次産業)、流通業(3次産業)を足した造語である。

農業者は生産するだけでなく、食品加工や販売戦略等による付加価値で、農業所得を増加させるのが6次化の目的だ。

この背景には、日本の農業総生産高が1990年の6.1兆円から、2007年には3.2兆円と半減したのに対して、食品製造業や外食産業の生産額は83.9兆円と変わらず、食品流通業を含めた市場規模では拡大傾向にあることがある。

一方、食料自給率については、主食用米は多様なニーズに応じた供給態勢を作ると共に、米粉用・飼料用米の安定供給を確立し、小麦については水田二毛作の普及と団地化を、大豆は水田の団地化と汎用化で機械化による単収向上安定化を進め、2020年の自給率50%を目指している。(下表)

佐渡の第6次産業化は流通・販売がカギ

個別所得補償制度は、既に本年からモデル事業が動き出している。政府は将来、果樹や畜産・漁業まで拡大するとしているが、財政的な問題から見通しは立たない状態だ。

6次産業化については、平成22年度の予算付けはできている(右表)。その総予算額131億円の半分(67.8億円)は、農業施設等に対する太陽光パネル設置の補助金である。

残り63億円がソフト事業であるが、農産物加工や流通・販売等で付加価値をつけるには、離島・高齢化の佐渡には極

主要農産物の生産目標と自給率

種別	年次別 消費(Kg/人) 2020年	生産量(万トン)	
		2008年	2020年
米	***	822	975
米(主食用)	62	881	855
米粉用米	3.3	0.1	50
飼料用米	-	0.9	70
小麦	28	88	180
大麦・裸麦	0.2	22	35
大豆	6.7	26	60
飼料作物(TDN)	-	735	527
自給率(熱量換算)	***	41%	50%

めて重い課題である。また、米や柿は佐渡ブランドとして既に一定の評価を受けている。6次産業化で本土に勝る付加価値がなければ、今ある評価も帳消しになる心配がある。

農業者団体と行政が知恵を出し合い、新たな商品開発と安定的な販売態勢作りに真剣に取り組むことが必要だ。

未来を切り開く6次産業創出総合対策

6つの支援ポイント【131億円】	
1	地産地消・販路拡大・価格向上対策【34億円】 加工、流通、販売、観光などの取り組みに対する支援 地産地消・農商工連携・地域ブランド確立に対する支援
2	流通の効率化・高速化【2億円】 食品流通の効率化・高速化のための調査の実施および、 コールドチェーン体制の整備や品質管理の高速化
3	国際展開【14億円】 輸出促進のための環境整備、海外販路の定着、拡大、 食品産業の海外進出に対する支援
4	資源・環境対策【73億円】 食品産業における環境対策や、再生可能エネルギーを利 活用する取り組みなどを支援
5	品質管理・コンプライアンス等の強化【3億円】 HACCP手法の導入や一般衛生管理、食品業界のコンプ ライアンスの徹底などを支援
6	緑と水環境技術革命プロジェクト【5億円】 農産漁村の資源を活用した新たな産業の創出に向け、事 業化調査や人材の活用・育成などの総合的な支援

農林水産省資料から作成

議会の内・外 こぼれ話

12日「小太観音堂」の落慶法要と開眼供養が行われた。今年
は桜に雪が積もるなど、全国的な天候不順が続いたが、この日も
”寒の戻り”で、僧侶の着替えに暖気が用意される程だった。

小太の観音堂は応永3年に建立され、600年余りに亘り集落(檀
家39戸)を見守ってきた。しかし堂の破損が進んだことから、堂守
の小太様(久保家)が改築を決意され、西・東辰屋や新倉集落
からの浄財を受けて着工した。また、不在だった馬頭観音菩薩も
堂守が寄進され、入仏開眼法要のあと無事安置されました。

当日は檀家を始めとし、遠く聞きつけた人が法要に参加されて
賑やかめき、祝賀では、どの顔も大仕事を成し遂げた喜びに溢れ
ていた。久しぶりに”集落の心が一つ”になれた日であった。